

## 業界初のセキュリティ連動型 3カメラ同時録画ドライブレコーダーを新発売

加藤電機株式会社 代表取締役社長 加藤 学



### 【危険運転など急増する車両防犯ニーズに応える】

2018年以降、あおり運転などを記録した強烈なインパクトのある動画がテレビやインターネットなどで複数回取り上げられたことで、約10年前にトラックやバス、タクシーを中心とした業務用に導入し始めたものが、一気に一般市場にも普及加速し、保険会社をはじめ、多くのドライバーがこぞってドライブレコーダーを装着し始めました。

一方、製品評価技術機構によると一日の平均運転時間はわずか1.5時間であるという調査結果を受けて、当社ではカーセキュリティシステムと連動して車両犯罪を防止しながら同時に録画もできる新しいコンセプトに基づく「セキュリティドライブレコーダー HSDR300-701」を開発しました。



### 【車両犯罪を防止しながらドラレコ連動で同時に長時間録画も可能】

一般的にドライブレコーダーは動画記録時の消費電力が多く、仮に駐車中に映像を記録した場合は数十分も経たずに車両のバッテリーが上がってしまいます。つまり、実質的に駐車中の記録には利用できませんでした。そこで、一日の平均駐車時間である22.5時間中に被害に遭う車上狙いや車両盗難を防止するため、カーセキュリティシステム「HORNET 701VS」とドライブレコーダー「SDR300H」を連動装着し、駐車中の異常監視機能を強化したのが「セキュリティドライブレコーダー HSDR300-701」です。

リレーアタックなどの不正な開錠時や車両の異常を検知した場合には警報を発報し、短時間でドライブレコーダーを起動して録画が開始されます。

### 【コンパクトで高画質なデュアルカメラ設計・寒冷地にも対応】

HORNET 701VSカーセキュリティシステムは国土交通省道路運送車両法 保安基準第43条の5盗難発生警報装置の技術基準に適合し、-40℃～+85℃の環境で利用でき、警戒中の消費電流わずか数mA程度であることから長時間の車両監視が可能です。

また、「SDR300H」ドライブレコーダーは前方フルハイビジョンカメラと室内赤外線ハイビジョン暗視カメラを標準搭載し、オプションで後方用防水 (IP68) ハイビジョンカメラを接続できる全方位対応モデルです。また、カーセキュリティのノウハウを応用し、ドライブレコーダーではめずらしい-30℃～+65℃の環境でも利用できることから北海道など寒冷地でも安心してご利用いただけます。

このほかの特徴として、モニター画面は医療用モニターにも利用される広視野角のIPS液晶を採用しており、一体型ドライブレコーダーとして最大級の3インチのため、見やすく操作性も抜群です。前方フル



